



那須塩原・リンツ



2025年日本国際博覧会出展記念プレ事業



「那須塩原×リンツ」合唱発表会

これまで姉妹都市リンツ市と取り組んできた様々な交流の成果として、両市の学生による合同合唱団が大阪・関西万博の会場にて、7月27日と28日に合唱を披露することになりました！

万博で歌を披露するのは、リンツ市と那須塩原市の生徒31名で結成された混声合唱団です。そのうちの10名は、これまでも数々の交流に取り組んでくれたリンツ市音楽高校アダルベルト・シュティフター校の生徒たちで、21名は那須塩原市内の中学校の生徒たちです。全員が7月の大阪・関西万博に向けて、厳しい練習を重ねています！



今回は本番へ向けて、3月2日に合唱発表会をGUNEI三島ホールで開催し、これまでの練習の成果を発表しました！リンツ市の合唱団には、オンラインでイベントに参加してもらい、配信環境の都合上、事前に収録してもらった合唱の映像を会場で上映しました。シュティフター校の生徒たちや校長先生その他、サルムさんや駐オーストリア日本国大使にも参加していただき、リンツ市と那須塩原市の合唱を楽しんでいただきました。

来場者とオンラインの参加者から「素敵な歌声にとっても感動した」と素晴らしい評価と応援の言葉を受け、「万博を楽しみにしている」との意見をもらいました！



那須塩原・リンツ

オーストリアパビリオン

「未来を作曲」



OFFICIAL PARTICIPANT

大阪・関西万博が、いよいよ4月13日に開幕します！
オーストリアは独自のタイプAのパビリオンを出展します。

・・・と言っても、タイプAのパビリオンとは何でしょう？

実は、万博に出展する海外パビリオンは、タイプA、B、C、Xの4つの種類に分かれていて、誰が建設し、誰が利用するかによってタイプが決まります。その中で、唯一加盟国が費用を負担し



©BWM Designers & Architects

独自にパビリオンを建設するのがタイプAとされるのです。つまり、オーストリアパビリオンはオーストリアの建築家がデザインし、日本企業の協力も得ながら作り上げるコラボレーション作品となっています。

オーストリアパビリオンのテーマは「未来を作曲！」オーストリアは、多くの人にとってクラシック音楽の強いイメージがあり、そこ

でオーストリアパビリオンでは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を音楽で表現したかったそうです。

まず、パビリオンの正面に、楽譜をイメージした高さ約12メートルの木製リボンが設置されています。この木製リボンは、オーストリアの木材が用いられ、オーストリアで作られたパーツを大阪へ輸送し、万博会場で組み立てられました。



©BWM Designers & Architects

展示スペースでは、日本とオーストリア、過去と未来、自然とデジタル、伝統技術とイノベーションのハーモニーを体感し、オーストリアという国の多様性と創造性を体験できるそうです。また、オーストリアの伝統菓子も楽しめるそうです🍪

そしてなんと！那須塩原市とリンツ市の生徒合唱団が7月27日にオーストリアパビリオン内で合唱を披露します！パビリオンだけでなく、ポップアップステージ北と翌日のLOCAL JAPAN 展でもオーストリアと日本の歌をお披露目します。

生徒たちの活躍が楽しみです！



Adalbert Stiftersgymnasium

Nasushiobara City

那須塩原・リンツ

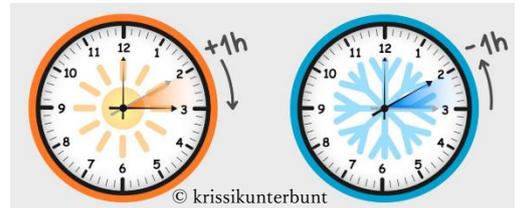


©BWM Designers & Architects

オーストリアの春と言えば…

コロコロ変わる天気やイースターがあげられますが、日本のように「入学・入社」や「新年度・新学期」など、何かの「始まり」のイメージは特にありません。教育関係だと入学と新学期は、学校も大学も秋で、社会的に定められた就職活動の時期がないため、入社も皆それぞれなのです。

オーストリアでは3月の最後の日曜日に行われる冬時間から夏時間への切り替わりにより、日が沈む時間が一時間遅くなり、一日が急に長く感じます。それは、オーストリア人にとっては「春が来た!」と思える瞬間の一つでしょう。



© krissikunterbunt



© textile network

また、オーストリアではイースターの存在が大きく、春のメインのお祝いとなります。クリスマスと違って、イースターは日にちが決まっておらず、春分の日と月齢カレンダーによって毎年3月下旬~4月下旬の期間の日曜日に定められます。ちなみに2025年のイースターは4月20日です!



イースターのシンボルである卵は、命が殻の中にいる時間を経て、やがて殻を破って生まれてくる様子が生命のはじまりの象徴であり、キリスト教にも深い意味があります。イースターの二つ目のシンボルとなるうさぎは、多産であることから、豊穰や繁栄の象徴とされています。



© Glico



© Klarstein Magazin

イースターは卵のペインティングやイースターエッグ探しをしたりして家族と楽しく過ごすお祭りです。また、イースターランチをする家庭も多く、その食卓は必ずゆで卵やチューリップで飾られます。このようなイースターの行事をしたことがない子供はほとんどいないと言っても良いぐらいイースターの伝統はオーストリアの家庭に根付いています。

那須塩原・リンツ

教えて、ゆかりさん！

オーストリアの伝統衣装って？

オーストリアの伝統衣装「^{トラット}Tracht」は、大きく女性が着るワンピース
^{ディアンドル}「Dirndl」と男性が履く革製の半ズボン「^{レーダーホーセ}Lederhose」に区別しますが、それ
 ぞれ模様や色、様々な種類と意味があり、日本の着物と同じぐらい伝統と歴史
 をたどっていくことができます。値段は素材や柄、染め方によりピンからキリ



©Mein Bezirk by Christopher Schenkenfelder



©Tourismus Salzburg GmbH by Bryan Reinhart

まであり、飲み会に着ていける伝統衣装もあれば、式典や舞踏会に着用する絹製や刺繍のトラットもあります。

女性が着るディアンドルは、ブラウスとワンピース、そしてエプロンの三つに分かれています。一方男性は、上半身は上品なブラウスとジャケット、下半身はレーダーホーセにひざ下までの靴下を着用します。伝統的な結婚式を挙げる女性は、ウエディングドレスとして真っ白なディアンドルを着るのが一般的で、とても素敵ですよ！



©Trachtenmode Hiebaum



クイズ

女性が着るオーストリアの伝統衣装「ディアンドル」は、ブラウスとワンピース、そしてエプロンの三つに分かれています。昔はそのエプロン紐の結び目の位置に意味がありました。どのような意味があったのでしょうか。

- A：職業柄
- B：四季の季節
- C：結婚歴
- D：身分

発行：那須塩原市市民生活部市民協働推進課（担当：ミヨシ・アンナ・ユカリ）
 事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社 108-2 TEL: 0287-62-7019
 FAX: 0287-62-7500 Eメール：shiminkyoudou@city.nasushiobara.tochigi.jp

バックナンバー・ドイツ語・英語編：

https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/kurashi_tetsuzuki/shiminsankaku/kokusaikoryu/3/8553.html



検索 那須塩原市海外姉妹都市ニュースレター



© Zalando Lounge

前から見て左に結び目がある場合は既婚者、前から向かって右にある場合は未婚を意味します。後ろに結び目がある場合は、まだ結婚する年頃でないことを意味し、子供たちは真ん中にリボンを結んでいます。昔の男性は、女性のエプロンの結び目を見て口説きにくいとか判断していましたが、現在はその意味はほとんどなく、特に気にすることはありませんが、誰かにお付き合いしている人は、リボンを前から見て左に結び目がよくあります。

クイズの答え：C